

神協連ニュース

No.450 2019年1月17日

横浜市港北区新横浜2丁目6番地13
新横浜ステーションビル9階 〒222-0033
TEL 045-473-1031 (代表)
FAX 045-473-9272
Email:kccf@qf7.so-net.ne.jp
http://www.kanaken.or.jp/

2019年 神奈川県生活協同組合連合会 賀詞交歓会が開催されました



- 日 時 / 2019年1月7日(月) 10:30~13:30
- 会 場 / ワークピア横浜 2階 おしどりくじゃく
- 出席者 / 274名
- 主 催 / 神奈川県生協連理事会
- 協 力 / 神奈川県生協連組合員活動委員会 :

ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生協、うらがCO-OP、ナチュラルコープ・ヨコハマ、福祉クラブ生協、やまゆり生協、全日本海員生協、富士フィルム生協、医療生協かながわ、神奈川北中央医療生協、川崎医療生協、神奈川みなみ医療生協、日本労働者協同組合連合会センター事業団神奈川事業本部
 会員生協：ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、生活クラブ生協、うらがCO-OP

- 司 会 / 第1部：水谷 清一 神奈川県生協連常務理事(神奈川北中央医療生協専務理事)
吉中 由紀 神奈川県生協連理事(パルシステム神奈川ゆめコープ理事長)
- 第2部：野村 晃一 神奈川県生協連常務理事(全日本海員生協専務理事)
石田 昌美 神奈川県生協連統括マネージャー



當貝 伸一
神奈川県生協連会長理事

- 主催者挨拶 / 當貝 伸一 神奈川県生協連代表理事会長
- 多くのご来賓を代表してご挨拶をいただきました。



行政を代表して
神奈川県副知事
浅羽 義里 様



議会を代表して
神奈川県議会副議長
齋藤 健夫 様



協同組合を代表して
神奈川県農業協同組合中央会 会長
長嶋 喜満 様



労働福祉団体を代表して
神奈川県労働者福祉協議会 会長
柏木 教一 様



乾杯の音頭
株式会社神奈川新聞社 社長
並木 裕之 様

- 乾 杯 / 並木 裕之 (株)神奈川新聞社 社長
- 中締め挨拶 / 山口 友範 神奈川県生協連理事
(ユーコープ執行役員・かながわ県本部長)



- 鏡開き /
- 横浜市 経済局長 林 琢己 様
- 神奈川県ユニセフ協会 会長 長谷部 勇一 様
- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会 事務局長 林 克己 様
- 公益財団法人横浜国際交流協会 理事長 岡田 輝彦 様
- 主婦連合会 会長 有田 芳子 様
- 公益財団法人横浜YMCA 総主事 田口 努 様
- 神奈川県漁業協同組合連合会 代表理事会長 高橋 征人 様
- 公益財団法人かながわ国際交流財団 専務理事 水田 秀子 様
- ガールスカウト神奈川連盟 連盟長 荒井 紀美子 様
- 横浜市会 副議長 森 敏明 様
- 株式会社神奈川新聞社 社長 並木 裕之 様
- 公益財団法人川崎市国際交流協会 常務理事 北沢 仁美 様
- 神奈川県弁護士会 副会長 西本 暁 様
- 横浜市消費者協会 理事長 阿南 久 様
- 神奈川県司法書士会 副会長 上村 政行 様
- 一般社団法人全国消費者団体連絡会 事務局長 浦郷 由季 様
- 特定非営利活動法人消費者支援かながわ 理事長 武井 共夫 様

社会民主党神奈川県連合との政策懇談会

神奈川県生協連と県議会各会派の皆さまとの政策・予算要望懇談は、2009年の自由民主党の皆さまとの懇談から始まりました。以来、県政に関する翌年度の県政政策・予算要望に関する県議会各会派の議員団のヒアリングの場に参加をして、県政に対する生協の要望を伝え、懇談を行っています。また県議会に議席のない社民党とも同様に政策懇談を行っています。

■ 日 時／2019年1月8日(火) 14:00～15:35

■ 会 場／ワークピア横浜 3階 302室

■ 出席者／

社会民主党神奈川県連合

金子豊貴男 相模原市議会議員 社会民主党神奈川県連合幹事長

安藤 孝雄 小田原市議会議員

中川登志男 寒川町議会議員

森 英夫 社会民主党神奈川県連合福祉対策委員長

酒井 孝一 社会民主党神奈川県連合平和人権対策委員長

神奈川県生協連

吉中 由紀 神奈川県生協連理事・パルシステム神奈川ゆめコープ理事長

藤田 誠 (公社)フードバンクかながわ事務局長

小林 正明 神奈川県生協連専務理事

石田 昌美 神奈川県生協連統括マネージャー

丸山 善弘 神奈川県生協連事務局

■ 懇談内容／質疑と意見交換:再生可能エネルギー、フードバンク、奨学金、子どもの貧困と支援、夜間中学、核兵器廃絶の取り組み



神奈川県消費者団体連絡会・学習会 ～主婦連合会70周年の歩みから消費者運動を学ぶ～

主婦連合会は、今年で創立70周年を迎えました。戦後混乱期の1948年、社会に欠乏感が蔓延する中、「不良マッチ退治主婦大会」を契機に、くらしを何とかしたいと立ち上がった主婦たちによって結成されました。

不正や不公平に怒り、消費者の視点で暮らしの問題を社会化し、「暮らしのつらさは政治の悪さから」と辛抱強く働きかけを続け、消費者行政の確立に力を注がれた消費者運動の先人たちの営みがあって、今日の私たちの社会があります。

いつの時代でも消費者の願いは「誰もが健康で明るく幸せに過ごせる平和な社会」の実現です。知恵と力を合わせて運動は続けられていますが、今でも看過できない不正や事件、事故はなくなっていない。また、社会の進展や科学の進歩により、新たな課題も生まれています。

神奈川県消団連は、石油ショックを理由とする物隠しや相次ぐ公共料金をはじめとした物価値上げの社会状況の中で、生活を防衛し、平和・安全・減税・健康・福祉・食生活・消費者の権利向上をめざして1974年から活動を始めています。

今回、消費者運動の先輩団体から、改めて消費者運動の思いを学ぶ機会を持ちました。



■ 日 時／2018年12月13日(木) 13:00～14:00

■ 会 場／神奈川県生協連 会議室

■ テーマ／「主婦連合会70周年の歩みから消費者運動を学ぶ～」

■ 講 師／有田 芳子 主婦連合会会長

■ 参加者／9団体15名

神奈川県建設労働組合連合会、神奈川公団住宅自治会協議会、神奈川母親連絡会、鎌倉消費者連絡会、コンシューマーズかながわ、さがみはら消費者の会、新日本婦人の会神奈川県本部、横浜市消費者団体連絡会、神奈川県消団連

ユニセフ・ハンド・インハンド募金

～すべての子どもたちに、5歳の誕生日を～

生協はユニセフの活動を支援しています。ハンド・イン・ハンド募金は毎年11月～12月を募金月間として取り組まれ40回目となりました。今年のテーマは「すべての子どもたちに、5歳の誕生日を」。神奈川県ユニセフ協会では、川崎、相模原、桜木町、平塚の各駅周辺で街頭募金を呼びかけ、4会場にのべ507名が募金活動に参加し、合計735,931円の募金をお寄せいただきました。

ご協力ありがとうございました

川崎会場の様子(JR川崎駅東口)
日 時：12/2(土) 13:00～15:00
参加者：87名 募金額：173,486円



相模原会場の様子(小田急相模大野駅周辺)
日 時：12/9(土) 10:00～12:00/13:00～15:00
参加者：259名 募金額：361,050円



桜木町会場の様子(JR桜木町駅前)
日 時：12/15(土) 13:00～15:00
参加者：110名 募金額：102,131円



平塚会場の様子(JR平塚駅周辺)
日 時：12/23(日) 10:00～12:00
参加者：51名 募金額：99,264円



～神奈川県労働者福祉基金から寄附金も贈呈～

(公社)フードバンクかながわの活動が広がっています

(公社)フードバンクかながわは、個人や団体・企業から、消費するには十分安全であるにもかかわらず廃棄されてしまう食品の寄贈を受け、支援を必要としている生活困窮者に非営利団体を通じて提供しています。昨年、県内の協同組合・労働福祉団体・市民団体等により設立され、4月から事業を開始。順調に活動が広がっています。

12月には中央労働金庫・神奈川地区の会員によってつくられている神奈川県労働者福祉基金より、フードバンクかながわに対し寄附金の贈呈も行われました。



12/14 神奈川県労働者福祉基金の野口義一理事長より寄附金が贈呈されました

大和市生協運営協議会 フードバンクかながわを視察見学

大和市生協運営協議会(会長:里見里奈・ユーコープ)は、昨年3月に設立され、10月には公益社団法人認定を受けた「フードバンクかながわ」の視察見学を行いました。

消費するには十分安全であるにもかかわらず、廃棄されてしまう食糧の寄贈を受け、支援を必要としている生活困窮者に行政・団体を通じて適切に食料を配るフードバンクシステムについて、事務局長の藤田誠さんより説明を受けたあと、寄贈品の仕分け体験をしました。参加者からは、「寄贈されたお米は再精米して美味しい状態で届けるなどの気遣いがうれしい。」「企業からの寄贈品はバーコード管理されてトレサビリティが確立しているので安心。もっとフードバンクの活動が広がっていくとよい。」「大和市生協運営協の活動の中でもできることをやってみたい。」等たくさんの感動と意見が出されました。

- 日時 / 2018年11月28日(水) 10:00~12:00
- 会場 / フードバンクかながわ(横浜市金沢区富岡東2-4-45)



大和市生協運営協議会構成 /

ユーコープ、パルシステム神奈川ゆめコープ、さがみ生活クラブ生協、神奈川北中央医療生協

相模原市生協運営協議会 おうちコープリサイクルセンターを見学

相模原市生協運営協議会(会長:田口めぐみ・パルシステム神奈川ゆめコープ)は、2017年3月に開設されたユーコープの「おうちCO-OPリサイクルセンター」の視察見学を行いました。

このセンターは、主に宅配事業を利用する組合員から出されたカタログや宅配センターで発生するダンボール等の資源物を回収し、分別・圧縮する一次加工施設です。圧縮された資源物はリサイクル業者を経て様々な再生品に生まれ変わっています。

資源物の分別作業には横浜・川崎・東京都内で障がい者福祉事業を行っている(社福)同愛会(事務所:横浜市保土ヶ谷区上菅田町1696)と、(株)兼子(本社:静岡県静岡市清水区興津中町990)に作業を委託しています。

- 日時 / 2018年12月17日(月)
- 会場 / ユーコープリサイクルセンター
(大和市中央林間西6-7-1)



相模原市生協運営協議会構成 /

パルシステム神奈川ゆめコープ、ユーコープ、さがみ生活クラブ生協、神奈川北中央医療生協、宇宙科学研究所生協、麻布大学生協

予告 全国消費者大会

誰ひとり取り残さない平和な社会のために
～消費者の学習、対話、選択、行動の継続で～

「全国消費者大会」は今回で57回目の開催となる消費者と消費者団体の集会です。

今回も「世界消費者権利の日 World Consumer Right Day」に合せて開催します。

- 日時 / 2019年3月15日(金)
- 会場 / 主婦会館プラザエフ内各会場
〒102-0085 東京都千代田区六番町15
電話 03-3265-8111
第57回全国消費者大会実行委員会
- 参加費 / おひとり1,000円(学生500円)
(全体会、各分科会の全てにご参加いただけます)
託児あり 料金:1人500円